

「お父さんお母さん」と太郎さんは、聲を限りによんで、あるきました。聲がつかれた頃、お山の中を心配しながらさがして、あるいてる、お父さんと、お母さんにあひました、

「お、太郎ではないか？」

「よくまあぶじでいました、」

二人でかはるく抱いて頭を撫せました。

それから昨夜のやどにお父さんとお母さんを案内していろく御話しました。無事に寝てゐるお花ちゃんを御らんになつた時そのよろこびはどんなでしたらふ。そして太郎さんのかんしんな働きを御ほめになりました。(終り)

菓子盆にけし人形や桃の花

ともし灯の用意や難の壘所
ひな祭る都はづれや桃の月

(五元集)

(千代)

(蕪村)

雑報

○本會常集會 去月十八日本會常會は豫定の如く東京市小石川區竹早町なる東京府女子師範學校附屬幼稚園に於て開會せり、講師小林文學士は「社會と兒童との關係」に就いて有益なる講演あり、終つて別室に於て、茶菓を喫しつゝある間に前田同校主事の演説あり、次には遊戯室に於て有志の方々の遊戯交換などありて賑かに且面白く打ち過して午後五時頃散會を告げたり。當日出席者八十餘名頗る盛會なりき。

○聖心女學院附屬幼稚園の火災 去る二月十七日午後四時本會幹事武井綱技氏の管理さるゝ同幼稚園は祝融の災に罹られたり。本會よりの見舞に對し同氏の返書あり左に録す。

稚幼園出火の節は早速御見舞狀下されありがたくお禮申上候十七日金曜日午後四時三十分と覺し頃園の西北隅より發火見るとも全園は焼失いたし候出火としるや直ちにかけて候へとも其時は全園火にて入る事叶はずみすく焼け落ちるを傍觀いたしをり候次第にて一物をもとりいだす暇もなく唯わづかに私の部屋のもの少々とりいだしたるのみにて候然し幼児の歸園後に怪我等少しも無之候ひしは不幸中の幸と存じ候翌日より洋館の一部にて従前のごとく保育をいたし居り候まゝ他事ながら

御安心下され度し出火の原因等不詳に候とにかく火をとり消し候てより約二時間餘も過ぎたり候時間に候へとも御承知のことく藁屋根の極く古風なる建物にて候へは棟の落ち方非常にはやくそれに高臺の事とて水利あしく候ためにさしもの大建物をみすく焼失したること残念に候とり込申基た略儀ながら手紙にて御禮申上候へ以下略)

二月十九日

フレーベル會御中

武井綱枝

○日本兒童研究會總會 同會にては本月卅、卅一兩日總會を開き、兒童研究の諸問題に關し、講演、展覽、參觀等ある筈。詳細は本號廣告欄及兒童研究三月號に就て知らるべく、會員にあらざる方々も欣んで歡迎せらるゝ由なれば、本誌讀者の方々も奮て御出席あらんことをお勧めす。

○正誤 前號「野猪の話」の中、野猪の足跡の圖は倒さになつて居りましたから一寸御斷り致します又同號「机邊だより」の中、桑田孔治氏譯「兒童心理學」とあるは桑野禪治氏譯の誤りに付同じく茲に御斷り申します。

又廣告中の女子手工教授法と同新圖集の定價とが間違つて居りましたから左の通り正します。

女子手工

新教授法

定價金四拾錢

女子手工

新圖集

定價金貳拾五錢

日本兒童研究會廣告

四八

明治四十四年三月東京に於て本會第六回總會を開く其順序概畧左の如し(參會隨意)

講演

三月三十日午後零時半より東京法科大學第三十二番講堂に於て

三月三十一日午後零時半より東京醫科大學精神病學講堂に於て

展覽

三月三十日午前九時より十二時まで東京文科大學心理學教室に於て兒童の讀物に關する陳列

參觀

三月三十日午後五時より三越吳服店內舉行の第三回兒童博覽會參觀

三月三十一日午前九時より、府下巢鴨村庚申塚瀧川學園參觀

宴會

三月三十日午後六時半より三越吳服店內食堂に於て開會

委細の次第書は、三月二十五日發行の『兒童研究』を見らるべし

明治四十四年二月廿五日 日本兒童研究會